

大台町の概況

大台町は、三重県の中南勢部に位置し、一級河川・宮川の源流域から中流域に沿って、東西に細長く広がっています。町の西部・宮川上流域は、四方を1,000m級の山々に囲まれた急峻な地域で、両岸の山峡の合間に集落と耕地が点在する純山村となっています。

その一部地域は、吉野熊野国立公園、奥伊勢宮川峡県立自然公園、ユネスコエコパークに指定されており、その豊かな自然が自慢です。

大内山川との合流点より東部の宮川中流域では、国道42号が宮川と併走し、尾鷲、熊野方面と松阪方面を結ぶ重要な物流・人流の基幹道となっています。平成18年3月には、紀勢自動車道が町内の大宮大台インターチェンジまで開通し、名古屋・京阪神方面へのアクセスが飛躍的に向上しました。



人口 9,900人
(2,060年予測)
4,737人

面積 362.86km²
(内森林面積)
338km²
(内耕地面積)
7km²

年間平均気温
15℃

年間降水量
3,310mm

まちづくりの基本姿勢

メインテーマ “自然と人びとが幸せに暮らすまち”

サブテーマ 「住んで良かった」「ずっと住み続けたい」と、だれもが想えるまち
5つの柱

1. 美しい環境のまちづくり
2. 産業振興と交流のまちづくり
3. いきいき健康・福祉のまちづくり
4. 教育・文化振興のまちづくり
5. 安全・安心のまちづくり

町の施設

- ①本庁 ②総合支所 ③大杉谷出張所 ④領内出張所 ⑤川添出張所 ⑥日進出張所
4 保育園、4 小学校、2 中学校、県立昂学園高校

第3セクター

- ① (株)宮川物産・・・特産品の開発、加工販売
② (株)フォレストファイターズ・・・農林業後継者育成
③ (株)エム・エス・ピー・・・プレカット工場(国産材加工)
④ (株)宮川観光振興公社・・・宿泊施設の経営他
⑤ 道の駅奥伊勢おおだい(株)・・・特産品販売、情報発信、レストラン
⑥ (株)奥伊勢ハイウェイパーク・・・特産品販売、情報発信、レストラン

林業施策

①木材生産推進のための基盤整備

近年の多様化する木材需要に対応するため、木材生産量の増加を図る取り組みとして、森林作業道の整備と高性能林業機械の導入を支援し、作業道と林業機械が一体となった、低コストの木材生産体制を確立するための基盤整備を進めています。

また、H型架線集材システムなどの新たな搬出技術を導入し、急峻な地形等の立地条件に応じた効果的な搬出手法を進めています。

②森林立地評価

森林が持つ立地環境を詳細に把握し、目指すべき目標森林像を明確に定め「適地適木」の観点から大台町に適した森林づくりを行っています。

森林立地評価に基づき、新たな森林ゾーニングと施業方針を示すためGIS解析を導入し、「次世代に引き継ぐ森林づくりガイドライン」を制定しました。

森林立地評価を基に実際の森林整備を実施しており、人工林の不適地では群状間伐による効率的な木材収集と、林地に適した樹種の林相転換を行い森林資源の多様化と最大化を図る事業を実施しています。

③広葉樹の森林づくりと防鹿対策

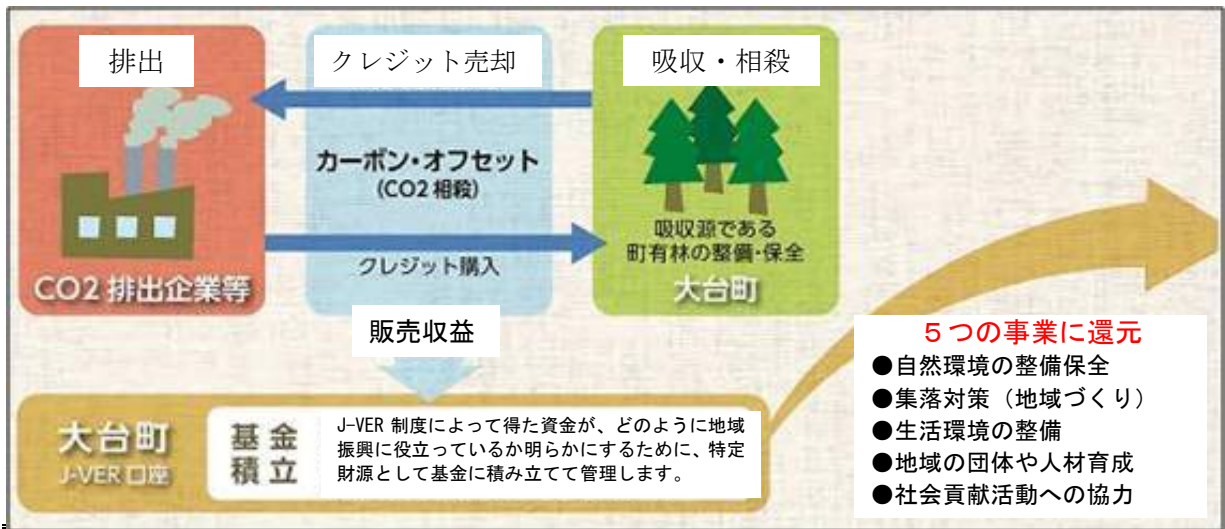
未植栽地や人工林の不適地の林相転換など、早期に森林に回復させるため、森林立地評価と自然配植技術を用いた広葉樹植栽を実施しています。植栽には町内で生産する地域性苗木を使用し、生物多様性に配慮した森林づくりを行っています。

植栽後の鹿の食害対策は、小規模に柵を点在させる「パッチディフェンス」を導入しており、防鹿対策として高い効果を得ています。

④J-VER制度

町有林 1,597ha のうちH20～H24年度に 153.09ha の森林が吸収した二酸化炭

素 6,433t-co2 を J-VER 制度の認証を受け、オフセット・クレジットとして販売しています。なおその内、4,370t-co2 が販売済みとなっています。大台町がこの制度を取り入れ認証を受けたのは東海地方の自治体では始めてで、全国では 3 例目です。



(主な販売先)

全日本大学駅伝実行委員会、三交不動産、百五銀行レッドフロンティアーズ、環境思考、三重古紙センター、(株)司、(株)angelo、三重電子計算センター、COP10、キヤノンマーケティングジャパン(株)、(株)ウェイストボックス、(有)森と水を守る会他 (H27.3末現在)

環境施策

日本で一番美しいまちづくりを目指して

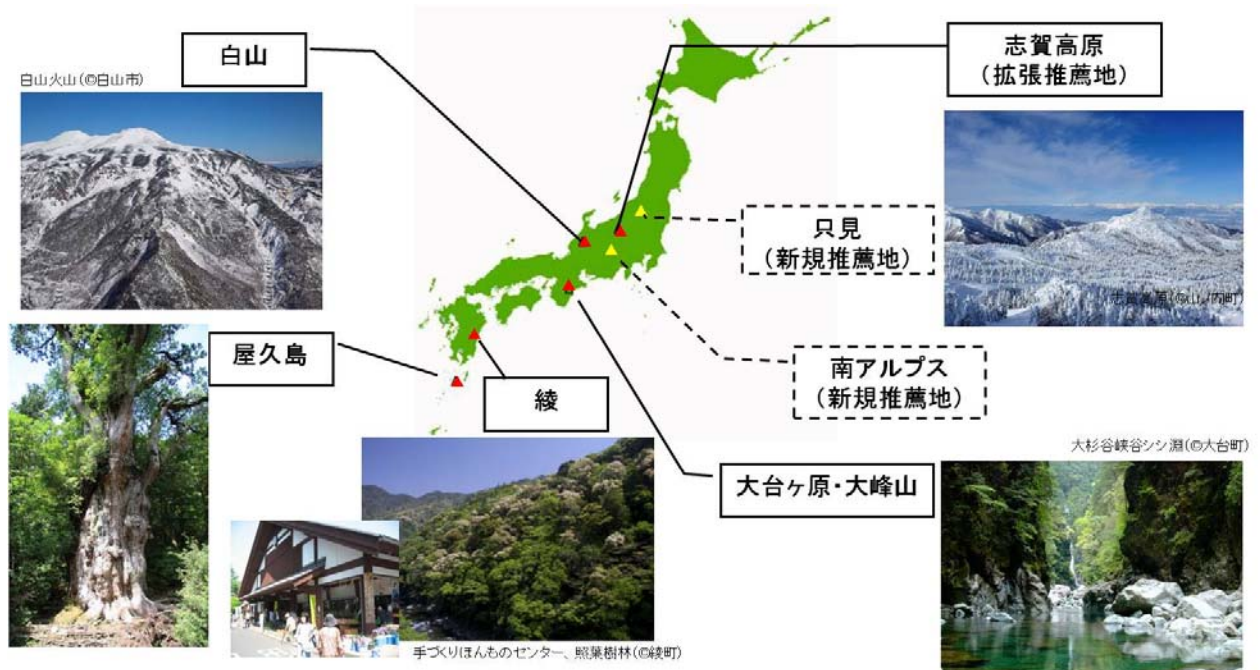
●環境条例の制定 (平成 11 年 7 月施行)

- ・憲章型条例 ①みんなで育む心豊かな環境づくり条例
- ・規制型条例 ①水道水源等保護条例
 - ②ゴミの投げ捨て禁止条例
 - ③キャンプ地の指定に関する条例

●生活排水処理施設の整備・公共下水道と市町村設置型合併浄化槽により全域の整備促進

今後の重点課題

●ユネスコ・エコパーク拡張登録



- 道の駅を中心とした野菜の生産・販売（重点道の駅へ）
- ゆず加工施設の建設
- バイオマス資源の活用
- 子育て環境の充実
- 日進保育園の建替え
- ゴミ処理施設の建設